

【難治度判定】

難治度は下記の3つにより総合的に判断する

- ① 重症度
- ② 柔軟度
- ③ 習慣が変わる早さ

*『穴掘り』で例えると分かりやすい

- 1.穴の深さ
- 2.土の軟らかさ
- 3.掘る人の上手下手

① 重症度

重症度は内旋および捻れの程度により判定する

- ・ 内旋・捻れの程度が小さい → 軽度
- ・ 内旋・捻れの程度が大きい → 重度

* 軽度 V → O → U → XO I ・ Xo II 重度



V字タイプ

O字タイプ

U字タイプ

XO字タイプ

② 柔軟度

下記2つの柔軟度が関係する。

- ・外旋力・・・テストで術者が外旋位にする際の柔軟度
- ・横弾力・・・テストで術者がすき間を狭くする際の柔軟度

外旋力・横弾力とも

柔軟度高い(軟らかい) → 予後良好

柔軟度低い(硬い) → 予後不良

外旋力

| | | 良好 | 普通 | 不良 |
|-----|----|-----|------|------|
| 横弾力 | 良好 | 5 | 4A | 2AA |
| | 普通 | 4B | 3AB | 1AAB |
| | 不良 | 2BB | 1ABB | ? |

5. かなりの高確率で改善
4. 基本的には良好
3. 改善が期待できる
2. 改善は期待できるが・・・
1. 改善幅は小さい

- A. ライン的に不利
- B. 隙間的に不利

③ 習慣が変わる早さ

- ・ 感覚をつかむ勘
- ・ 習慣を変える努力
- ・ 姿勢等の練習
- ・ セルフケア&セルフトレーニングの実践